

サンケイオーソサイド水和剤 80

有効成分：キャプタン…80.0%

農林水産省登録 第 11508 号

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

①散布剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量 ★	使用時期	総使用 回数※	使用 方法
しょうが	白星病	600 倍	100 ～ 300L/10a	収穫 3 日 前まで	本剤:2 回以内、キャプ タン:5 回以内(但し、塊茎粉 衣は 1 回以内、灌注は 2 回以内、散布は 2 回以内)	散布
小麦	赤かび病、葉枯症、 ふ枯病	600 ～ 1,000 倍	60 ～ 150L/10a	収 穫 14 日前まで	4 回以内	
	黒点病、黒変病	1,000 ～ 1,500 倍				
芝	葉腐病（ブラウンパ ッチ）	300 ～ 500 倍	0.5 ～ 2L/ ㎡	発病初期	8 回以内	
		500 ～ 800 倍	1 ～ 2L/ ㎡			
	赤焼病	300 ～ 800 倍				
西洋芝（ペントグラス）	炭疽病	300 ～ 500 倍	0.5L/㎡			
ばら	黒星病	800 倍	100 ～ 300L/ 10a	発 病 前 ～発病初 期		
	茎腐病、立枯病、苗 立枯病					
りんどう	葉枯病、茎腐病、立 枯病、苗立枯病	600 倍				
せんにちこう	斑葉病、茎腐病、立					

	枯病、苗立枯病					
コスモス	そうか病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
ひまわり	べと病、黒斑病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
シネラリア	褐斑病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
スイトピ-	腰折病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
みやこわすれ、アンスリウム	根腐病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
斑入りアマドコロ	斑点病、茎腐病、立枯病、苗立枯病					
花き類・観葉植物 (ばら、りんどう、 せんにちこう、コ スモス、ひまわり、 シネラリア、スイ トピ-、みやこわす れ、アンスリウム、 斑入りアマドコロ を除く)	茎腐病、立枯病、苗立枯病					
ゆきやなぎ	苗立枯病	1,000 倍	200 ~			
せんりょう	炭疽病	600 倍	700L/10a			
トマト	疫病	800 ~ 1,200 倍	100 ~ 300L/ 10a	収穫前日 まで	本剤:5 回以内、キャプ タ ン:5 回以内(但し、種子粉 衣は 1 回以内)	
	葉かび病、灰色かび 病、すすかび病	800 倍				
きゅうり	炭疽病、褐斑病、つ る枯病	600 ~ 800 倍				
	べと病	600 倍				

	灰色かび病	800 倍			
しろうり、かぼち や	べと病	600 倍		収穫 14 日前まで	本剤:5 回以内、キャプタ ン:6 回以内(但し、種子 粉衣は 1 回以内、は種後 は 5 回以内)
	炭疽病	400 ~ 800 倍			
すいか、メロン	べと病、つる枯病	600 倍		収穫開始 14 日前 まで	5 回以内
	炭疽病	400 ~ 800 倍			
ごぼう	黒斑病	800 倍		収穫 30 日前まで	本剤:2 回以内、キャプタ ン:3 回以内(但し、種子粉 衣は 1 回以内、は 種後は 2 回以内)
いちご	灰色かび病、炭疽 病、芽枯病	800 倍		収穫前日 まで	本剤:5 回以内、キャプタ ン:6 回以内(但し、種子粉 衣は 1 回以内、は種後は 5 回以内)
いんげんまめ	炭疽病	600 ~ 1,200 倍		収穫 7 日 前まで	
たまねぎ	灰色かび病、白色疫 病、苗立枯病、軟腐 病	600 倍		収穫 21 日前まで	3 回以内
葉たまねぎ	灰色かび病、白色疫 病、苗立枯病				
はくさい	黒斑病、白斑病、苗 立枯病	600 ~ 1,200 倍		200 ~ 700L/ 10a	本剤:2 回以内、キャプタ ン:5 回以内(但し、生育期
	べと病、炭疽病	600 倍			
	軟腐病	800 倍			
小粒核果類	黒星病	800 ~ 1,000 倍		収穫 21 日前まで	3 回以内
	すす斑病	800 倍			
ブルーベリー	斑点病	500 ~ 1,000 倍			

	すす点病、灰色かび病	500 倍			は 2 回以内、収穫終了後～落葉期までは 3 回以内)
マルメロ	黒点病	1,000 倍		収穫 14 日前まで	6 回以内
くるみ	炭疽病、褐斑病	800 倍		収穫 7 日前まで	4 回以内
パイナップル	根腐萎凋病	500 倍	300 ～ 400L/10a	収穫 21 日前まで	3 回以内
パパイヤ	黒変病	600 倍	200 ～ 700L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内
マンゴ-	炭疽病			収穫 7 日前まで	
もも	縮葉病			発芽前	4 回以内
かき	落葉病、炭疽病、すす点病	1,000 倍		収穫 7 日前まで	5 回以内
ぶどう	晩腐病、褐斑病、灰色かび病、べと病、枝膨病、黒とう病	800 倍		収穫 30 日前まで	3 回以内
おうとう	褐色せん孔病、灰星病、炭疽病			収穫 3 日前まで	5 回以内
りんご	黒星病	600 ～ 1,000 倍		収穫前日まで	6 回以内
	黒点病	800 ～ 1,200 倍			
	斑点落葉病、輪紋病、褐斑病、すす点病、すす斑病	600 ～ 800 倍			
	炭疽病	800 倍			
なし	赤星病、黒星病、輪紋病	600 ～ 1,000 倍	収穫 3 日前まで	9 回以内	
	疫病	1,000 倍			

	炭疽病				
さくら	炭疽病	800 倍		発病前～ 発病初期	8 回以内

★使用液量の単位の読み方：「L/10a」＝「ml/m²」（例 100～300L/10a＝100～300 ml/m²）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		総使用回数※	使用方法
			薬量	希釈水量		
西洋芝（ベントグラス）	藻類、コケ類	芝生育期（雑草発生初期）	1～2g/m ²	0.5L/m ²	8 回	散布

②土壌病害に使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数又は使用量	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
ゆり	腐敗病	400 倍	-	植付前又は貯蔵前	本剤:1 回、キャプタン:8 回以内	30 分間球根浸漬
アイリス	青かび病	800～1,000 倍		植付前	8 回以内	
チュリップ				球根掘取時及び植付時		球根浸漬
ピーマン	苗立枯病	種子重量の 0.2～0.4%	2L/m ²	は種前	本剤:1 回、キャプタン:2 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内)	種子粉衣
せり科葉菜類(せりを除く)、とうがらし類、オクラ		800 倍		は種後から 2～3 葉期まで	本剤:2 回以内、キャプタン:2 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内)	灌注
		種子重量の 0.2～0.4%		は種前	本剤:2 回以内、キャプタン:3 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 2 回以内)	
トマト、きゅうり、なす、メロン、すいか、しろうり、かぼちゃ		800 倍		は種前	本剤:1 回、キャプタン:5 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内)	種子粉衣
	800 倍	は種後から 2～3 葉期まで	本剤:5 回以内、キャプタン:5 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内)	灌注		

しょうが	根茎腐敗病	塊茎重量の 2%	-	植付前	本剤:1回、キャプタン:5回 以内(但し、塊茎粉衣は1回 以内、灌注は2回以内、散 布は2回以内)	塊茎粉衣
		400倍	3L/m ²	収穫 30 日前 まで	本剤:2回以内、キャプタ ン:5回以内(塊茎粉衣は1 回以内、灌注は2回以内、 散布は2回以内)	灌注

作物名	適用病害名	使用量	使用 液量	使用時 期	総使用回数※	使用方法
野菜類(いも類を除く)、飼 料作物、未成熟とうもろこ し	ピシウム・リゾ クトニア菌によ る病害 (苗立枯病等)	種子重量の 0.2~0.4%	-	は種前	1回	種子処理機に よる種子粉衣
花き類・観葉植物					本剤:1回、キャプ タン:8回以内	

2025年11月26日付：さくらの追加

はくさいの追加

トマトの追加

きゅうりの追加

ゆきやなぎ、せんりょう、花き類・観葉植物(ばら、りんどう、せんに
ちこう、コスモス、ひまわり、シネラリア、スイトピ、みやこわすれ、
アンスリウム、斑入りアマドコロを除く)、ばら、りんどう、せんにち
こう、コスモス、ひまわり、シネラリア、スイトピ、みやこわすれ、ア
ンスリウム、斑入りアマドコロの変更

2024年5月29日付：たまねぎの変更

2024年3月27日付：くるみの変更

2023年10月25日付：小麦の変更

2022年10月12日付：小麦の変更

2022年2月25日付：くるみ、オクラの追加、野菜類(いも類を除く)の変更

2021年9月8日付：きゅうり、いちごの変更

2020年8月12日付：ゆりの追加

2020年4月8日付：はくさいの変更

2019年10月30日付：ぶどう、トマト、きゅうり、なす、メロン、すいか、しろりり、かぼち
ゃ、ピ-マン、とうがらし類の変更；せり科葉菜類（せりを除く）の追加

2019年7月10日付：小麦の変更

2019年1月16日付：小麦の変更

2018年7月3日付：小麦の追加、りんご、おうとう、ぶどうの変更

2018年5月30日付：パイナップルの変更